

●事業の概要

【団体の概要】

- 2017年設立。多機能型重症児デイサービス、児童発達支援事業等を実施。

【事業の概要】

- 住宅街と農地の間に医療的ケアを必要とする子どもの通所支援、母親を対象とする在宅ワーク支援施設を新築。

【施設デザインの特徴】

- 施設を利用する医療ケア児が安心して外遊びをできるような、グラデーショナルに外に向かって開く空間構成。
- ウッドデッキやはらっぱ、はなれ等の中間領域を配置することで「人の目が怖い」と感じることが多い利用者や家族が安心して過ごし、地域と繋がれるように工夫。



●地域の概要、解決を目指す地域課題など

- 本施設が立地する小山市間々田は、新興の戸建住宅地と田園地帯の間に位置している。宅地分譲は今も進んでおり、地域コミュニティは現在進行形で形成されている。
- 重度障害がある子どもの行き場所と母親の働く場所の課題を同時に解決し、地域と交流する拠点をつくり、コミュニティの活性化・社会的包摂性の醸成を目指す。

●事業のコンセプトなど

【コンセプト】

- 子どもたちの「やりたい」を実現し家族の安心に配慮した居心地の良い居場所になる、地域住民にとって様々な人と繋がり合うきっかけの場として、みんなにとっての大切な居場所となる。

【地域との関わり】

- イベント等を通じて徐々に施設と地域の信頼関係を構築する。長期的に、地域住民に気軽に立ち寄ってもらえる関係性を築き、同世代の子どもたちや地域の人たちと、自然なつながりをつくれる場をつくりだす。

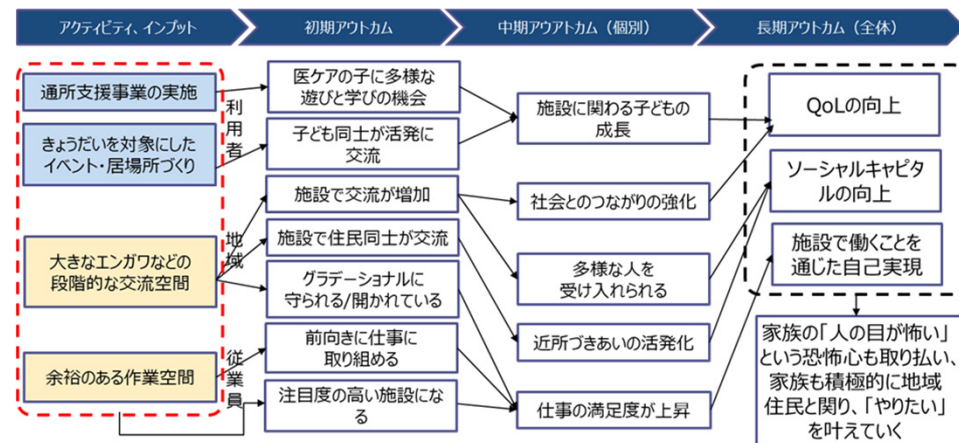
子どもたちの将来を考えた場所づくりをするうえで、さまざまな出会いや経験を通して、豊かな心を育めることが大切です。ケアを必要とする子どもとその家族が置いていかれることのない仕組みづくりに取り組みます。



担当者の声

●ロジックモデル

- 利用者、従業員、地域住民の行動変容を通じて長期アウトカムの発現を目指す



●実現した効果

【アンケート調査】利用者

外遊びの頻度・内容ともに満足している

56.3%

過去1年程度で外遊びの頻度または内容が充実した

50.1%

施設を利用する際の安心感

93.8%

過去1年程度で出会った／仲が深まった利用者・家族

50.0%

従業員

多様な遊びと学びの工夫を考えながら仕事ができる

100%

やりたいと思う仕事に取り組んでいる

91.0%

安心して療育に取り組める

90.9%

現在の職場で働くことにやりがいを感じる

100%

【定性的な効果】

- 栃木県マロニエ建築賞 受賞
- 新聞などでの紹介、外部からの視察（月に数回程度）等注目度の高い施設となっている
- 注目されている施設であることは職員のやる気にも良い影響が出ている



●総括

【施設に関わる子どもの成長】

- 外遊びの頻度・内容に対する満足度や1年前と比較した変化は、いずれも約半数が肯定的に回答。利用者の身体の状態は多様ななか、すべての改善は難しい一方で、建築デザイン上の工夫を通じた多様な遊びと学びの機会は一定の効果をあげている。

【職員の仕事の満足度の向上】

- 以前よりも安心して療育に取り組めるなど、職場の雰囲気の良いことややりがいに繋がっていることが示唆された。